

東胆振定住自立圏共生ビジョン（素案）

1 定住自立圏共生ビジョンについて

苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町で構成する東胆振定住自立圏の目指すべき圏域像を示す、「東胆振定住自立圏共生ビジョン」が今年度で最終年を迎えることから、定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見を踏まえ作成。

2 主な変更内容について

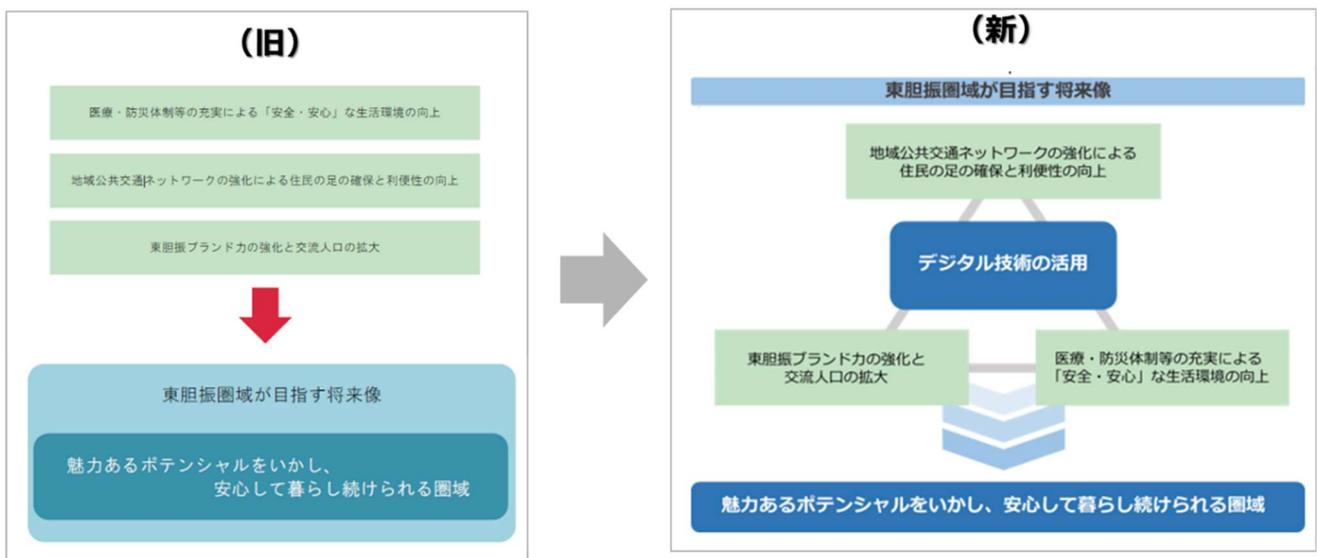
(1) 圏域の将来像について

近隣市への次世代半導体企業進出に伴う産業の発展、ゼロカーボンへの取組など圏域のポテンシャルを存分に発揮することで、持続可能で安心して暮らし続けることができる圏域を目指すこととします。

また、加速度的に進むデジタル技術の発展を圏域にも取り入れるため、3つの柱にデジタルの要素を取り入れた内容へと変更しています。

～3つの柱～

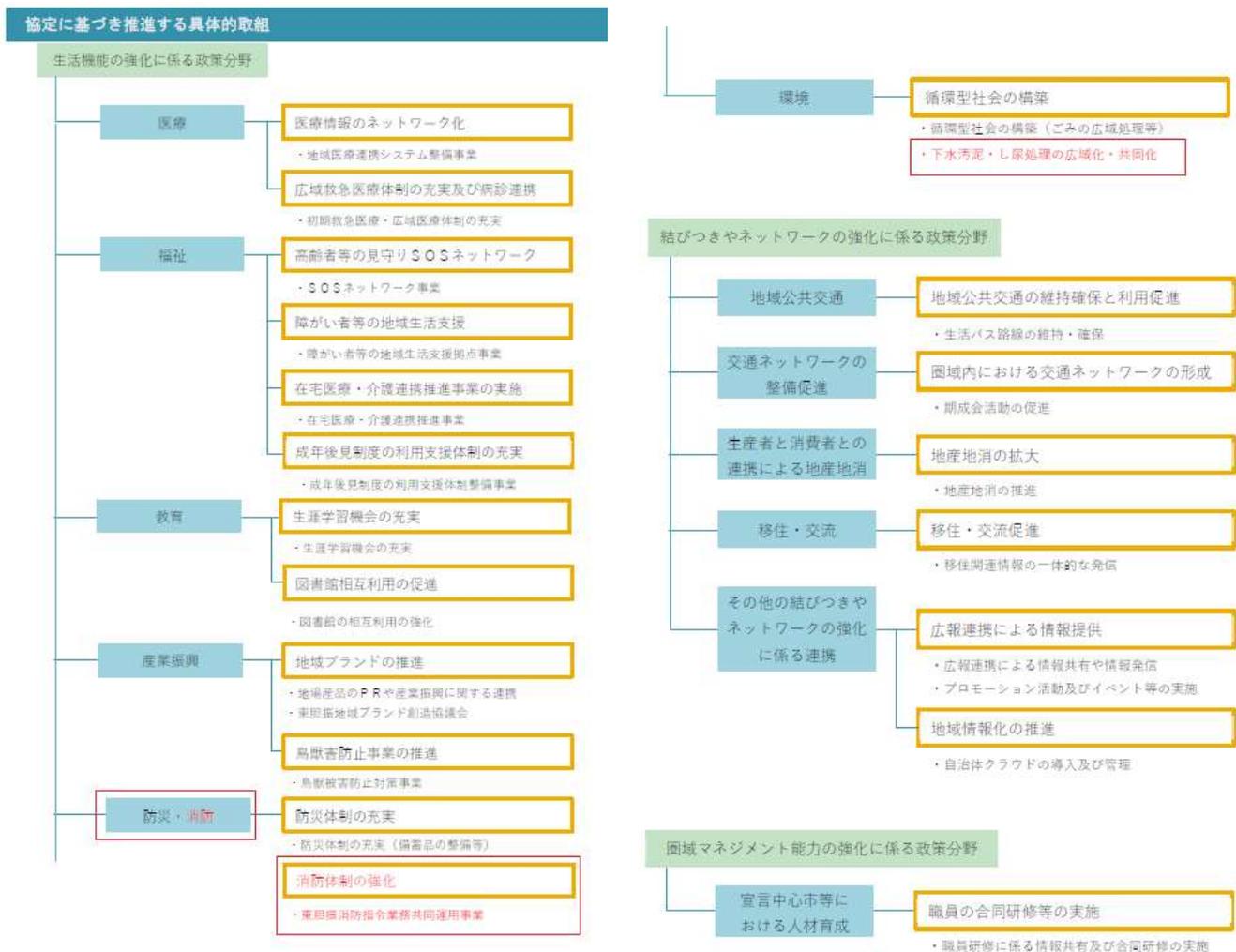
- ①医療・防災体制等の充実による「安全・安心」な生活環境の向上
- ②地域公共交通ネットワークの強化による住民の足の確保と利便性の向上
- ③東胆振ブランド力の強化と交流人口の拡大



(2) 協定の追加について

既に4町と協定を締結した消防指令業務の広域化に関して追加するため、「防災」分野を「防災・消防」改め、ビジョンに追加します。また、今後「環境」分野に、厚真町、安平町、むかわ町と調整中である下水汚泥・し尿処理の広域化について協定を締結し、追加する予定です。

分野	項目
防災・消防	消防指令業務の広域化
環境	下水汚泥・し尿処理の広域化・共同化



3 今後のスケジュールについて

- 令和6年12月・・・パブリックコメント
- 令和7年1月・・・定住自立圏共生ビジョン懇談会（意見交換）
- 令和7年3月・・・総合開発特別委員会で報告
- 令和7年3月・・・定住自立圏共生ビジョン懇談会（完成報告）
- 令和7年4月・・・「東胆振定住自立圏共生ビジョン（令和7年～令和11年）」運用開始